

区議会第1回定例会  
新年度予算で

# 区民要望が実現



4月にオープンした特別養護老人ホーム・赤羽北さくら荘と赤羽北のぞみ保育園の前で

区議会第1回定例会は3月22日に閉会。新年度予算では、これまで日本共産党北区議員団が予算組み替えや区長への予算要望で提案してきた区民要望の一部が実現しました。党区議団は今年度も、北区の予算案に対し、組み替え提案をおこないました（裏面参照）。

**日本共産党**

## 保育園の待機児童解消



この4月、直営の区立認可4園の新設などで898人の定員を拡大。さらに2018年度までに、約1000人を増やす予定です。

## ひとり親家庭相談コーナー



カウンセラーの資格を持つ相談員が対応し、関係機関と連携して確実な支援へとつなげる相談コーナーが9月、区役所2階に開設。

## 感震ブレーカー無料配付



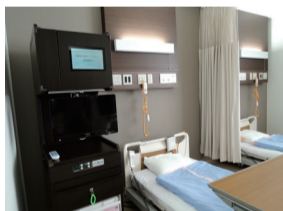
災害時、揺れを感知して通電火災を防ぐ感震ブレーカーを、不燃化特区内の木造住宅に無料配付。設置の支援もおこないます。

## 教育・医療の新たな拠点が誕生



### 赤羽台に東洋大学情報連携学部

旧赤羽台中学校跡地に、東洋大学の新しいキャンパスがオープン。今年、新設の情報連携学部（通称「INIAD」）に400人の新入生が通います。



### 東京北医療センターに新病棟

63床の増設（南館）で、無菌室を含む血液内科や病児病後児室が新設され、化学療法室やNICU（新生児集中治療室）が拡充されました。

## 新庁舎用地選定へ

印刷局王子工場用地内

北区は、王子駅前の国立印刷局王子工場内に新庁舎建設用地を取得する予定です。新庁舎については2009年度に検討をおこない、11年度には建設基本構想を策定しています。



お困りごと・ご相談はお気軽に地元の区議会議員へ

日本共産党 北区議員団 TEL 3908-7144 FAX 5993-0280



**宇都宮 章**  
神谷3-10-8-401  
090-4127-7550  
神谷、東十条1~4、王子1丁目4~28番、2丁目1~20番、同23~32番、3丁目1~19番、4丁目1~24番、王子5、豊島1丁目1~11番



**さがらとしこ**  
赤羽北3-23-17  
3905-0970(事務所)  
桐ヶ丘、赤羽台1・2丁目、3丁目19~30番、同17番74号を除く17番全部、赤羽西5・6丁目、赤羽北3丁目



**ながいともこ**  
浮間3-1-54-302  
080-4429-6338  
浮間、赤羽北1・2丁目、赤羽西1~4丁目、赤羽台3丁目1~16番、同17番74号と18番、赤羽台4丁目



**野口 まさと**  
東十条5-16-10  
070-5658-0603  
上十条、中十条、十条台2丁目、十条仲原、岸町2丁目、西が丘、東十条5・6丁目



**のの山 けん**  
岩淵町22-31-401  
090-2156-3510  
赤羽、赤羽南、岩淵町、志茂



**福島 宏紀**  
豊島5-4-1-615  
090-1206-6925  
豊島5丁目、6丁目8~15番、7丁目15~33番、豊島8丁目、王子3丁目20~24番、4丁目25~28番、王子6丁目



**本田 正則**  
田端3-4-12-305  
090-9240-8066  
田端、中里、西ヶ原、上中里1丁目、東田端、田端新町、昭和町



**やまき 直人**  
滝野川2-34-4-201  
3917-9827  
滝野川、王子1丁目1~3番、王子本町、岸町1丁目、十条台1丁目



**山崎 たい子**  
豊島7-19-10  
090-2160-1292  
豊島1丁目12~39番、豊島2~4丁目、6丁目1~7番、7丁目1~14番、王子1丁目29~30番、2丁目21・22番、堀船、上中里2・3丁目、栄町

暮らし応援  
 貧困・格差  
 の是正へ

# 日本共産党北区議員団が 予算組み替え提案

景気悪化や社会保障制度の改悪による負担増、年金・実質賃金の低下などにより、暮らし・雇用は依然厳しい状況が続いています。日本共産党区議団は、3月22日の最終本会議で北区一般会計予算に対する「組み替え動議」を提出、区民の暮らしを応援する施策の実現を迫りました（**囲み参照**）。  
 動議には共産、新社会が賛成しましたが、自民・公明などが反対し、可決に至りませんでした。

全体計画 (36年度) 目標A	28年度末 見込み B	必要量 A-B=C	年度別計画			計(29~31) D	達成率 $\frac{B+D}{A}$
			29年度	30年度	31年度		
促進	促進	促進	促進	促進	促進	促進	—
(内訳) 十条駅西 口地区市 街地再開 発事業 (組合施行)	推進 (再開発 組合設立 認可)	完成	推進 (権利変換 計画認可)	推進 (建物除却 公共施設 整備)	推進 (建築工事 公共施設 整備)	推進	—
三大学連携 まちづくり 活動支援	推進	推進	推進	推進	推進	推進	—
事業費 (百万円)			462	4,699	2,002	7,163	

向こう3年間の事業費→ **約71.6億円**

中期	基本	事業名	29年度	30年度	31年度
060	069	十条駅周辺のまちづくりの促進	168	1,668	707
合計			168	1,668	707

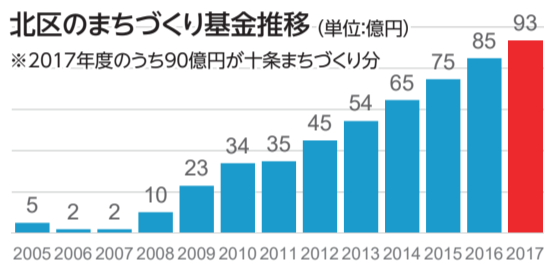
向こう3年間の基金取り崩し額→ **約25.4億円**

出典: 北区中期計画(平成29年度~31年度)

## 十条まちづくり分の不要不急の基金 10億円を財源に

組み替えの財源には、北区が新年度予算で十条まちづくり分の基金として計上した10億円を活用することを提案。区は毎年10億円の基金を十条まちづくりのために積み増し、新年度には90億円に達します（**グラフ参照**）。

北区中期計画では、向こう3年間の事業費は約72億円とされていますが、国の補助金や都市計画交付金が措置されるため、取り崩す基金は約25億円で済みます（**左表参照**）。不要不急の新たな十条分基金は、暮らしのために活用すべきです。



### 日本共産党の組み替え動議 (主なもの)

- 認可保育園の定員増と保育士等の処遇改善
- 認証保育所の保育料補助の拡充
- 学童クラブの増設と人員配置
- 小中学校入学準備金を拡充し、前倒し支給
- 学校給食の無償化を第3子からスタート
- 学校司書拡充と日本語適応指導員の増員
- 総合事業における介護事業所への支援拡充
- 障害者就労支援事業委託法人への補助増額
- 住宅要配慮者への家賃補助の実施
- ヘルシー入浴券の浴場組合への補助増額
- プレミアム付き区内共通商品券の増刷発行
- 住宅リフォーム助成の適用拡大
- 浮間地域などのバス路線復活やコミュニティバスの新規路線検討など交通手段の拡充

### 高すぎる国民健康保険料の負担軽減を

新年度、国保料がこの5年で最大の値上げに。2018年度からの「広域化」で、さらに値上げされる可能性もあります。党区議団は、国や都に保険料抑制を求めるとともに、組み替え動議で北区独自の均等割軽減を求めました。

また、後期高齢者医療保険料も特例軽減措置が2年間で縮小・廃止となり、新年度は北区の加入者中約5000人に、平均約1万2000円の負担増の影響がでることが明らかに。

住民を追い出し  
 商店街をこわす  
**十条まちづくり**

## 「にぎわい」、「やすらぎ」うばわないで! 区は住民の声に耳傾けよ



駅西口再開発、鉄道立体交差と付属街路、補助73号線・85号線などの事業が集中する十条。約500棟の住民を立ち退かせ、周辺の商店街に深刻な影響を与えます。党区議団は、住民合意をないがしろにしてまちづくりを進める北区の姿勢を厳しく批判しました。

### 5つの商店会が計画見直しを要望するも 商店街への影響も調べず

駅周辺に広がる5つの商店会は、2年にわたり73号線・85号線計画などの見直しを要請していますが、区ははまだ正式な回答すらしていません。それどころか党区議団の代表質問に、区の担当部長は「(影響を受ける)商店街にはこれから話を聞く」などと答弁、事業が与える影響を調査すらしていないことが明らかになりました。

「東京都北区商店街の活性化に関する条例」では、商店街の活性化に努めることを区の果たすべき責務としています。商店街を衰退させるような事業計画は、大本から見直すべきです。

### 補助73号線は延焼遮断帯にあらず

現道のないところに20~30cmもの幅員で事業化された補助73号線。都は住民への説明の中で、燃え広がりを防止する役割があると強調してきましたが、都議会で、そねはじめ都議の質疑を通じて、73号線が「延焼遮断帯」に位置づけられていないことが判明。莫大な税金を投入する道路事業の根拠が揺らいでいます。



そねはじめ都議を講師に招いて開いた住民団体の合同勉強会 = 2月18日、上十条ふれあい館

**住民激怒** マスコミも注目  
 住民を追い出し、商店街をこわすあまりの計画に、マスコミも、「まかり通さぬぞ! 巨大街壊し!? 道路」(TBS「噂の! 東京マガジン」)、「立ち退き要請、住民猛反発」(テレビ朝日「グッド! モーニング」)、「東京・十条発、住民激怒の立ち退き問題」(フジテレビ「TV タックル」)と相次いで告発。